

安全データシート

改訂日:2023 年 4 月 1 日
Rev.3

1 化学品及び会社情報

【化学品の名称】

製品名（製品番号） : ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS) (C74339)
構成試薬 : SARS-CoV-2 IgG (1st IS) Particles (Compartment R1a)
SARS-CoV-2 IgG (1st IS) Conjugate Diluent (Compartment R1b)
SARS-CoV-2 IgG (1st IS) Conjugate (Compartment R1c)
SARS-CoV-2 IgG (1st IS) Ancillary Diluent (Compartment R1d)
SARS-CoV-2 IgG (1st IS) Ancillary Diluent (Compartment R1e)

シリーズ : アクセス

【提供者の情報】

会社名 : ベックマン・コールター株式会社
住所 : 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目 5 番 7 号 TOC 有明ウエストタワー
担当部門 : 品質・薬事統括部門
電話番号 : 0120-566-730

2 危険有害性の要約

Particles (R1a) 、 Conjugate Diluent (R1b) 、 Conjugate (R1c)

下記による分類 : 皮膚感作性 区分1
: 水生環境有害性長期（慢性）区分3
*EC1272/2008(CLP/GHS) : 水生環境有害性短期（急性）区分3
*US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)
*UN GHS

絵表示又はシンボル

下記に準拠

*EC1272/2008(CLP/GHS)

*US-OSHA

*UN GHS



注意喚起語

: 警告

危険有害性情報

: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれあり
: H412 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

: P261 蒸気の吸入を避けること
: P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと
: P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること
: P273 環境への放出を避けること

【応急措置】

: P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと
: P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること
: P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、使用する場合には洗濯をすること

【保管】

: —

【廃棄】

: P501 地域の規制に従って内容物／容器を廃棄すること

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

Ancillary Diluent (R1d) 、 Ancillary Diluent (R1e)	
下記による分類	: 皮膚感作性 区分1 : 眼刺激性 区分2 *EC1272/2008(CLP/GHS) : 皮膚刺激性 区分3 *US-OSHA (HCS 29 CFR : 水生環境有害性長期（慢性）区分3 1910.1200) : 水生環境有害性短期（急性）区分3 *UN GHS
絵表示又はシンボル	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> 下記に準拠 *EC1272/2008(CLP/GHS) *US-OSHA *UN GHS 注意喚起語 危険有害性情報 </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center;">  </div> <div style="flex: 1;"> : 警告 : H316 軽度の皮膚刺激 : H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれあり : H319 強い眼刺激 : H412 長期的影響により水生生物に有害 </div> </div>
注意書き	
【安全対策】	: P261 蒸気の吸入を避けること : P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと : P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること : P273 環境への放出を避けること
【応急措置】	: P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと : P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 : P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること : P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること : P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること : P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、使用する場合には洗濯をすること
【保管】	: —
【廃棄】	: P501 地域の規制に従って内容物／容器を廃棄すること

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物
成分情報

キット名	化学名	化学式 CAS 番号	含有量	官報公示 整理番号
Particles (R1a) Conjugate Diluent (R1b) Conjugate (R1c)	アジ化ナトリウム	NaN ₃ 26628-22-8	0.1%未満	1-482
	5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン (EC 番号 247-500-7) と 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン (EC 番号 220-239-6) の反応生成混合物 (3:1)	— 55965-84-9	0.05%未満	白物質 5-5235, 既存 9-378
	エトキシシラウリルアルコール	(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₂ H ₂₆ O 9002-92-0	1~3%未満	7-97
Ancillary Diluent (R1d) Ancillary Diluent (R1e)	アジ化ナトリウム	NaN ₃ 26628-22-8	0.1%未満	1-482
	5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン (EC 番号 247-500-7) と 2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン (EC 番号 220-239-6) の反応生成混合物 (3:1)	— 55965-84-9	0.05%未満	白物質 5-5235, 既存 9-378
	エトキシシラウリルアルコール	(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₂ H ₂₆ O 9002-92-0	1~3%未満	7-97

4 応急措置

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c)

吸入した場合	: 被災者を空気の新鮮な場所に移してください。呼吸が停止している場合は直ちに人工呼吸を行い医師の手当てを受けてください。
目に入った場合	: もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で 15 分以上まぶたを開けて目を洗ってください。痛みや刺激が生じた場合は医師の手当てを受けてください。
皮膚についた場合	: 皮膚に触れた場合、大量の水で 15 分以上洗い流してください。痛みや刺激が生じた場合には医師の手当てを受けてください。
飲み込んだ場合	: 摂取した場合は水で口をよく洗ってください。刺激や不快感が生じた場合は医師の手当てを受けてください。
急性及び遅延性の最も重要な症状／影響	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがあります。
応急処置及び必要とされる特別な処置の指示	: 追加の関連情報なし

Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

吸入した場合	: 被災者を空気の新鮮な場所に移してください。呼吸が停止している場合は直ちに人工呼吸を行い医師の手当てを受けてください。
目に入った場合	: もし本品が目に入った場合、緩やかな水道水で 15 分以上まぶたを開けて目を洗ってください。痛みや刺激が生じた場合は医師の手当てを受けてください。
皮膚についた場合	: 皮膚に触れた場合、大量の水で 15 分以上洗い流してください。痛みや刺激が生じた場合には医師の手当てを受けてください。
飲み込んだ場合	: 摂取した場合は水で口をよく洗ってください。刺激や不快感が生じた場合は医師の手当てを受けてください。
急性及び遅延性の最も重要な症状／影響	: 眼への強い刺激のおそれがあります。 : 皮膚への軽度の刺激のおそれがあります。 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれがあります。
応急処置及び必要とされる特別な処置の指示	: 追加の関連情報なし

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

5 火災時の措置

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

可燃性特質	: 不燃性水溶液
消火剤	: 火災では二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤、噴霧水又は泡消火剤を用いてください。 大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いてください。
物質／混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性	: 特別な危険有害性は確認されていません。
有害燃焼生成物	: 本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません (水溶液)。
消火作業者の保護具	: 全ての薬品火災では自給式の呼吸装置を推奨します。

6 漏出時の措置

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

人体に対する予防措置	: 防護のための一般安全ガイドラインを遵守してください。目及び皮膚に触れないようにしてください。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。
環境に対する予防措置	: 漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。 未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。
流出及び漏出時の措置	: こぼした物質は漂白剤を水で 1:10 希釈した溶液で処理し、定められた基準に従い廃棄してください。

7 取扱い及び保管上の注意

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

安全な取扱いのための予防措置	: 本品は感染の危険性があるものとして注意して取り扱ってください。安全基準に従って、目や皮膚に触れないようにしてください。
混触危険性を含む安全な保管条件	: 製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。 強酸、強塩基、強酸化剤及び不適合物質から離して保管してください。

8 曝露防止及び保護措置

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

設備対策	: 特別な設備は必要ありませんが、換気を心がけてください。
保護眼鏡	: 目に入らないように保護眼鏡を着用してください。
保護手袋／保護衣	: 皮膚の防護のため、不浸透性手袋 (ニトリル又は相当品) の着用をお勧めします。
呼吸用保護具	: 通常の使用条件では、本品の使用には保護マスク等の制約はありませんが、換気が適切に行われず過剰量の曝露のおそれがある場合は、資格を有する専門家に保護マスク等の使用を相談してください。

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

9 物理的及び化学的性質			
Particles (R1a)			
物理状態	: 液体	溶解度	
色	: 茶色	水	: 混和
透明度	: 不透明	有機溶媒	: 未定・不明
臭い	: 無臭	n-オクタノール／水分配	: 未定・不明
pH	: 7.0	係数 (log 値)	
融点・凝固点	: 未定・不明	自然発火点	: 適用外
沸点又は初留点及び	: 未定・不明	分解温度	: 未定・不明
沸点範囲		揮発性	: 適用外
引火点	: 適用外	蒸気圧	: 未定・不明
蒸発率	: 未定・不明	粘度	: 未定・不明
可燃性	: 適用外	爆発性	: 適用外
爆発下限界及び爆発	: 適用外	酸化性	: 適用外
上限界／可燃限界		臭いの閾値	: 適用外
相対ガス密度	: 未定・不明		
密度及び／又は相対	: 1.044		
密度			
Conjugate Diluent (R1b)			
物理状態	: 液体	溶解度	
色	: 透明	水	: 混和
透明度	: 透明	有機溶媒	: 未定・不明
臭い	: 無臭	n-オクタノール／水分配	: 未定・不明
pH	: 6.0	係数 (log 値)	
融点・凝固点	: 未定・不明	自然発火点	: 適用外
沸点又は初留点及び	: 未定・不明	分解温度	: 未定・不明
沸点範囲		揮発性	: 適用外
引火点	: 適用外	蒸気圧	: 未定・不明
蒸発率	: 未定・不明	粘度	: 未定・不明
可燃性	: 適用外	爆発性	: 適用外
爆発下限界及び爆発	: 適用外	酸化性	: 適用外
上限界／可燃限界		臭いの閾値	: 適用外
相対ガス密度	: 未定・不明		
密度及び／又は相対	: 1.01		
密度			
Conjugate (R1c)			
物理状態	: 液体	溶解度	
色	: 透明	水	: 混和
透明度	: 透明	有機溶媒	: 未定・不明
臭い	: 無臭	n-オクタノール／水分配	: 未定・不明
pH	: 6.0	係数 (log 値)	
融点・凝固点	: 未定・不明	自然発火点	: 適用外
沸点又は初留点及び	: 未定・不明	分解温度	: 未定・不明
沸点範囲		揮発性	: 適用外
引火点	: 適用外	蒸気圧	: 未定・不明
蒸発率	: 未定・不明	粘度	: 未定・不明
可燃性	: 適用外	爆発性	: 適用外
爆発下限界及び爆発	: 適用外	酸化性	: 適用外
上限界／可燃限界		臭いの閾値	: 適用外
相対ガス密度	: 未定・不明		
密度及び／又は相対	: 1.01		
密度			

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

9 物理的及び化学的性質

Ancillary Diluent (R1d)

物理状態	: 液体	溶解度	
色	: 透明	水	: 混和
透明度	: 透明	有機溶媒	: 未定・不明
臭い	: 無臭	n-オクタノール／水分配	: 未定・不明
pH	: 7.0	係数 (log 値)	
融点・凝固点	: 未定・不明	自然発火点	: 適用外
沸点又は初留点及び	: 未定・不明	分解温度	: 未定・不明
沸点範囲		揮発性	: 適用外
引火点	: 適用外	蒸気圧	: 未定・不明
蒸発率	: 未定・不明	粘度	: 未定・不明
可燃性	: 適用外	爆発性	: 適用外
爆発下限界及び爆発	: 適用外	酸化性	: 適用外
上限界／可燃限界		臭いの閾値	: 適用外
相対ガス密度	: 未定・不明		
密度及び／又は相対	: 1.018		
密度			

Ancillary Diluent (R1e)

物理状態	: 液体	溶解度	
色	: 透明	水	: 混和
透明度	: 透明	有機溶媒	: 未定・不明
臭い	: 無臭	n-オクタノール／水分配	: 未定・不明
pH	: 7.0	係数 (log 値)	
融点・凝固点	: 未定・不明	自然発火点	: 適用外
沸点又は初留点及び	: 未定・不明	分解温度	: 未定・不明
沸点範囲		揮発性	: 適用外
引火点	: 適用外	蒸気圧	: 未定・不明
蒸発率	: 未定・不明	粘度	: 未定・不明
可燃性	: 適用外	爆発性	: 適用外
爆発下限界及び爆発	: 適用外	酸化性	: 適用外
上限界／可燃限界		臭いの閾値	: 適用外
相対ガス密度	: 未定・不明		
密度及び／又は相対	: 1.018		
密度			

10 安定性及び反応性

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c)

Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

反応性	: 追加の関連情報なし
化学的安定性	: 本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	: アジ化ナトリウムは重金属と結合し爆発性化合物を生成します。低濃度のアジ化物でも排水管などの鉛や銅と繰り返し接触することにより爆発しやすい化合物を生成することがあります。
避けるべき条件	: 製品の性能を維持するために、強酸や強塩基、強酸化剤から遠ざけてください。熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	: 金属及び金属化合物
有害な分解生成物	: 重大な危険を引き起こす分解生成物は本品（水溶液）には含まれていません。

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

11 有害性情報

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c)

危険有害成分の毒性データ

アジ化ナトリウム : 経口 LD50 ラット 27 mg/kg、
経皮 LD50 ウサギ 20 mg/kg

5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリ
ン-3-オン[EC 番号 247-500-7] と
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン
[EC 番号 220-239-6] の反応生成
混合物 (3:1) : 経口 LD50 ラット 53 mg/kg

被曝の主要経路

: 目との接触、摂取、吸入、及び皮膚接触。感染性物質に特有の経路としては、皮膚の刺傷、傷口、粘膜への接触及びエアロゾルの吸引が考えられる。

急性毒性

: データがなく分類できない。

皮膚腐食性／刺激性

: データがなく分類できない。

目に対する重篤な損傷性／眼刺激性

: データがなく分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 皮膚接触により感作を起こすおそれあり

発がん性

: 発がんのおそれなし

生殖細胞変異原性

: データがなく分類できない。

生殖毒性

: データがなく分類できない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

: データがなく分類できない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

: データがなく分類できない。

誤えん有害性

: データがなく分類できない。

その他の情報

: 本品は動物由来物質を含有します。本品の取扱いに際しては、一般的な安全ガイドラインを遵守してください。

Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

危険有害成分の毒性データ

アジ化ナトリウム : 経口 LD50 ラット 27 mg/kg、
経皮 LD50 ウサギ 20 mg/kg

5-クロロ-2-メチル-4-イソチアゾリ
ン-3-オン[EC 番号 247-500-7] と
2-メチル-4-イソチアゾリン-3-オン
[EC 番号 220-239-6] の反応生成
混合物 (3:1) : 経口 LD50 ラット 53 mg/kg

エトキシラウリルアルコール

: 経口 LD50 ラット 1 g/kg

被曝の主要経路

: 目との接触、摂取、吸入、及び皮膚接触。感染性物質に特有の経路としては、皮膚の刺傷、傷口、粘膜への接触及びエアロゾルの吸引が考えられる。

急性毒性

: データがなく分類できない。

皮膚腐食性／刺激性

: 皮膚への軽度な刺激のおそれあり

目に対する重篤な損傷性／眼刺激性

: 眼への強い刺激のおそれあり

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 皮膚接触により感作を起こすおそれあり

発がん性

: 発がんのおそれなし

生殖細胞変異原性

: データがなく分類できない。

生殖毒性

: データがなく分類できない。

特定標的臓器毒性、単回ばく露

: データがなく分類できない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

: データがなく分類できない。

誤えん有害性

: データがなく分類できない。

その他の情報

: 本品は動物由来物質を含有します。本品の取扱いに際しては、一般的な安全ガイドラインを遵守してください。

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

12 環境影響情報

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

生態毒性

淡水生物

アジ化ナトリウム : 96h LC50 ニジマス 0.8 mg/L、
96h LC50 ブルーギル 0.7 mg/L、
96h LC50 ファッドヘッドミノー 5.46 mg/L (流水)

マイクロトックス

: 情報なし

ミジンコ

: 情報なし

淡水藻類

: 情報なし

残留性と分解性

: 本品では未定

生物蓄積性

: 本品では未定

土壌中の移動度

: 本品では未定

PBT 及び vPvB 評価の

: 本品では未定

結果

PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 非該当

vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 非該当

13 廃棄上の注意

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

製品の廃棄

: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄してください。
実際の廃棄は、許可を受けた産業廃棄物処理業者等に依頼するか、含有物を化学的に分解した後、その水溶液が中性であることを確認して廃棄してください。生体有害物質のおそれがあるので、バイオハザード廃棄物として該当する法令に従って処分してください。
アジ化ナトリウムは保存剤として用いられますが、金属製排水管内で爆発性化合物を生成することがあります。
アジド化合物が蓄積する可能性を回避するため、未希釈の試薬を廃棄した後は排水管を水で洗い流してください。

包装の廃棄

: 使用済み／未使用の廃棄物及び汚染された包装は国や地方自治体の規定に従い廃棄してください。

14 輸送上の注意

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c) Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

国連番号 : 1687 (アジ化ナトリウム)

クラス (国連分類) : クラス 6.1 (毒物) (アジ化ナトリウム)

容器等級 : PG II (アジ化ナトリウム)

環境有害性 : 非該当

注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光を避ける。

安全データシート

ACCESS SARS-CoV-2 IgG (1st IS)

製品番号: C74339

Rev.3

15 適用法令

Particles (R1a)、Conjugate Diluent (R1b)、Conjugate (R1c)

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質管理促進法 : 非該当
(PRTR 法)
大気汚染防止法 : 非該当
水質汚濁防止法 : 非該当
土壌汚染対策法 : 非該当

Ancillary Diluent (R1d)、Ancillary Diluent (R1e)

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質管理促進法 : エトキシシラウリルアルコール 第一種指定化学物質 (1-460 号)
(PRTR 法)
大気汚染防止法 : 非該当
水質汚濁防止法 : 非該当
土壌汚染対策法 : 非該当

16 その他の情報

引用文献

NITE 化学物質総合情報提供システム http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
厚生労働省 職場のあんぜんサイト
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds_label/label_howmade.html
JCDB Chemical Database Search Service <https://ezservice.jcdb.jp/search/ezcric.php>
BECKMAN COULTER 安全性データシート

改訂日

2023 年 4 月 1 日 (作成日: 2021 年 5 月 24 日)

注意

ベックマン・コールター社はここに記載した内容について有効かつ正確であると考えていますが、有効性、正確性あるいは通用性を保証、もしくは明言するものではありません。当社はこの内容又は製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任を負うものではありません。また、危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則に規制されることがあります。
詳細については最寄りのベックマン・コールター株式会社営業所までお問い合わせください。